

97 番の歌 神の言葉によって生きる

イエスがパンを与えた奇跡から学べること

「私が命のパンです。私のもとに来る人は全く飢え.....ません」。ヨハネ 6:35 イエスは言った。

「私が命のパンです。私のもとに来る人は全く飢えず、私に信仰を抱く人は決して喉が渴きません。」

ポイント：ヨハネ 6 章を調べ、イエスが奇跡によって群衆にパンと魚を与えたことから学べる点を考えます。

1. 聖書時代、パンはどれほど大切なものでしたか。

パンは聖書時代の主食の 1 つでした。（創 14:18 また、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持ってきた。メルキゼデクは至高の神に仕える祭司だった。ルカ 4:4 しかしイエスは答えた。「『人はパンだけで生きるのではない』と書いてあります」）聖書では、食べ物を指して「パン」という言葉が使われることがあります。（マタ 6:11 今日、この日のためのパンを私たちにお与えください。使徒 20:7 週の最初の日、私たちが食事をするために集まっていた時、パウロは次の日には出発することになっていたので、講話を始めた。話は長くなつて真夜中まで続いた、注 食事をする：直訳、「パンを割る」。パンは古代中東で主要な食物だったので、この表現はどんな食事も指すようになった。）よく知られているイエスが行った奇跡の 2 つはパンに関するものでした。（マタ 16:9, 10 まだ要点が分からぬのですか。5 つのパンを 5000 人で食べた時、余りを幾つの籠に拾つたかを覚えていないのですか。10 また、7 つのパンを 4000 人で食べた時、余りを幾つの大籠に拾いましたか。）そのうちの 1 つはヨハネ 6 章に書かれています。この記録から私たちはどんなことを学べるでしょうか。

2. どんな状況で食べ物が必要になりましたか。

2 使徒たちが伝道旅行から戻ると、イエスは使徒たちが休めるように舟でガリラヤ湖を渡りました。（マル 6:7 さて、イエスは12人を呼び寄せて、2人ずつ遣わすことに取り掛かり、邪悪な天使に対する権威を与えた、30-32 使徒たちはイエスのもとに集まって、行ったことや教えたことを全部報告した。31 イエスは言った。「さあ、一緒に静かな場所に行って、少し休みなさい」。出入りする人が多く、食事をする暇もなかったからである。32 それで一行は舟に乗り、自分たちだけになれる静かな場所に向かった。ルカ 9:10 使徒たちは帰ってきて、行ったことを全部イエスに報告した。イエスは使徒たちを連れ、自分たちだけでベツサイダという町に去っていった。）そして、ベツサイダという町に向かい、自分たちだけで過ごせる静かな場所へ行きます。でもそれを知った何千人の人が先回りして集まっていました。イエスはそうした人たちを無視するではなく、優しく接しました。時間を取って王国について教え、病気の人を癒やしました。遅い時間になつたので、弟子たちは、ここにいる人たちが食べ物を手に入れるにはどうしたらよいだろうと考えました。中には食べ物を少しだけ持っている人もいたかもしれません、ほとんどの人

は村へ行って食べ物を買う必要がありました。 (マタ 14:15 夕方になる頃、弟子たちが来て言った。 「ここは辺ぴな場所で、もう遅い時間です。群衆を解散させ、村に行って自分で食べ物を買えるようにしてあげてください」。ヨハ 6:4, 5 さて、ユダヤ人の祭りである過ぎ越しが近かった。 5 イエスは目を上げて大勢の人がやって来るのを見、「この人々が食べるパンをどこで買いましょうか」とフィリポに言った。) イエスはどうしたでしょうか。

奇跡によってパンを与える

3. イエスは使徒たちにどんな指示を与えましたか。 (挿絵も参照。)

3 イエスは、群衆を解散させようとした使徒たちに次のように言いました。「その必要はありません。あなたたちが食べ物を与えて下さい」。 (←マタ 14:16) でもそれは不可能に思えました。そこには約 5000 人の男性に加え、女性や子供もいました。1 万 5000 人分ほどの食事を用意する必要があったかもしれません。 (←マタ 14:21) アンデレは「ここに大麦のパン 5 つと小さな魚 2 四を持っています。でも、これほど大勢では何になるでしょうか」と言いました。 (ヨハ 6:9) イエスはパンを取り、感謝の祈りをしてから、座っている人たちに配った。小さな魚についても同じようにし、人々は好きなだけ食べた。12 人々が満腹になった時、イエスは弟子たちに言った。「余ったかけらを集め、何も無駄にならないようにしなさい」。13 弟子たちがかけらを集めると、12 個の籠がいっぱいになった。もともと 5 つだった大麦のパンを食べた人たちが残したものだった。) 大麦のパンは貧しい人を含めみんなが普段食べていたものでした。小さな魚は塩干しされていたものと思われます。でも少年が持っていたのは、到底みんなに行き渡る量ではありませんでした。



イエスは人々の信仰を強めただけでなく、必要な食べ物も与えた。 (3 節を参照。)

4. ヨハネ 6 章 11-13 節からどんなことを学べますか。 (写真も参照。)

4 イエスはそこにいた人たちをもてなしたいと思い、青草の上にグループになって座るよう指示しました。 (マル 6:39, 40) イエスは全員に、青草の上にグループになって座るよう指示した。40 人々は 100 人また 50 人のグループになって座った。ヨハネ 6:11-13 イエスはパンを取り、感謝の祈りをしてから、座っている人たちに配った。小さな魚についても同じようにし、人々は好きな

だけ食べた。12人々が満腹になった時、イエスは弟子たちに言った。「余ったかけらを集め、何も無駄にならないようにしなさい」。13弟子たちがかけらを集めると、12個の籠がいっぱいになつた。もともと5つだった大麦のパンを食べた人たちが残したものだった。を読む。) それから、パンと魚を与えてくれたことに感謝して天の父に祈りを捧げました。そうするのはふさわしいことでした。実際に食べ物を与えてくださっているのはエホバだからです。私たちもイエスの手本に倣い、一人でいる時もそうでない時も食事の前に感謝の祈りを捧げましょう。イエスは祈つた後、人々に食べ物を配りました。みんながおなかいっぱいになるまで食べることができました。余りが出るほどだったので、イエスは無駄にしたくないと思い、かけらを集めるようにと命じます。そのようにして、後で使えるようにしたのかもしれません。私たちもイエスのように物を無駄にせず、賢く使うようにしたいと思います。親の皆さん、この記述を子供たちと一緒に学ぶのはどうでしょうか。そして、祈ることやもてなすこと、惜しみなく与えることなどについて話し合うことができます。



「イエスのように食事の前に祈っているだろうか」と考えてみましょう。(4節を参照。)

5. イエスがしたことを見て人々はどうしましたか。イエスはどのように反応しましたか。

5人々はイエスの教え方や奇跡にとても驚きました。神がモーセを通して、特別な預言者を立てると約束したことを知っていたので、「イエスがその預言者なのだろうか」と考えたかもしれません。(申18:15-18)エホバ神は、あなたのために兄弟たちの中から私のような預言者を立てます。その人に従わなければなりません。16これは、民が集まった日(*会衆の日)にあなたがホレブでエホバ神に求めた事に応じてのことです。あなたはこう言いました。『もう私の神エホバの声を私に聞かせたり、この大きな火を私に見させたりしないでください。私が死なないためです』。17それでエホバは私に言いました。『彼らが言ったことはもっともだ。18私は彼らのために兄弟たちの中からあなたのような預言者を立てる。私は自分の言葉をその人に伝え、その人は私が命じる全てのことを彼らに話す。)もしイエスがその預言者なら、素晴らしい統治者になり、イスラエルにいるみんなが食べ物に困らないようにしてくれるだろう、と思ったかもしれません。それで人々はイエスを「王にするために捕らえ」ようとした。(ヨハ6:14, 15)人々はイエスが行った奇跡を見て、「これこそ、世に来ることになっていた預言者だ」と言いだした。15イエスは、人々が自分を王にするために捕らえに来ようとしているのを知り、ただ独りで再び山に去つ

ていった。) もしイエスが人々の願いを受け入れたなら、**当**時ローマの支配下にあったユダヤ人の政治に**関わる**ことになってしまったでしょう。でもイエスは**そ**うは**せ**ず、すぐに「**山に去**って」いきました。周**り**から**の**圧**力**があ**つ**ても**政**治に**関わる**ことは**し**めせん**で**した。ここから私たちは大切な点を学べます。

6. どうすれば**イエスの手本**に倣えますか。 (挿絵も参照。)

6 もちろん、私たち**が**奇**跡**によって**食**べ**物**を**増**や**し**たり**病**気**を**癒**や**したり**す**る**よ**う**求**め**ら**れる**こ**とは**ない**はず**だ**す。国**を**治**め**る**よ**う**求**め**ら**れる**こ**とも**ない**で**し**ょ**う**。でも、問題**を**解**決**して**く**れ**そ**う**な**人**を**支**持**し**た**り、**そ**の**人**に**投**票**し**たり**す**る**よ**う**と**言**わ**れ**る**こ**と**は**あ**る**か**もし**れ**ま**せ**ん。そ**の**よ**う**に**政**治**に**関**わ**る**よ**う**圧**力**を**かけ**ら**れる**時**、**イ**エ**ス**の**手本**を**思**い**出**す**こ**と**が**き**め**ます。イエス**は**政**治**に**一**切**関**わ**り**ま**せ**ん**で**した。後**に**、**「**私**の**王**国****は**この**世**界**の**もの**で**は**あ**り**ま**せ**n****」**と**も**言**い**ま**し**た。 (ヨハ 17:14) 私**は**あなた**の**言**葉**を**彼**ら**に**伝**え**ま**し**た**が**、世**の**人**々****は**彼**ら**を**憎**み**ま**し**た**。私**が**世**の**人**々****の**よ**う**で**は**ない**の**と**同**じ**よ**う**に**、**彼**ら**も**世**の**人**々****の**よ**う**で**は**ない**か**り**で**す**:** 18:36 イエス**は**答**え**た。**「**私**の**王**国****は**この**世**界**の**もの**で**は**あ**り**ま**せ**n****」**も**し**そ**う**だ**っ**た**な**ら、私**に**付**き**従**う**者**た**ち**は**、私**を**ユダヤ人**た**ち**に**渡**さ**ない**よ**う**に**戦**つ**た**で**し**ょ**う。しか**し**実**際**は、私**の**王**国****は**この**世**界**か**ら**の**もの**で**は**あ**り**ま**せ**n****」**) 私**た**ち**クリ**ス**チ**ヤ**ン****は**、**イ**エ**ス**の**考**え**方**や**行**動**に**倣**う**必**要**が**あ**ります。神**の**王**国****を**支**持**し**、**王**国****に**つ**い**て**祈**つ**た**り**語**つ**た**り**し**ます。 (マタ 6:10) あなた**の**王**国****が**来**ま**す**よ**う**に**。あなた**の**望**ま**れ**る**こ**と**が、天**と**同**じ**よ**う**に**地**上**で**も**行**われ**ま**す**よ**う**に**) では、イエス**が**奇**跡**によ**う**て**パン**を**与**えた**記**述**か**ら**さ**ら**に**学**べ**る**点**を**考**えて**み**ま**し**ょう。



イエス**は**政**治**に**関**わ**る**う**と**し**な**か**っ**た。私**た**ち**も**イエス**に**倣**う**必**要**が**あ**る。 (6節**を**参**照**。)

「パンの意味」

7. イエス**は**ど**ん**な**こ**と**を**し**ま**し**た**か。使**徒**た**ち**は**ど**の**よ**う**に**反**応**し**ま**し**た**か。 (ヨハネ 6:16-20)

7 イエス**は**群**衆**に**食**事**を**させ**た**後**、**使**徒**た**ち**を**舟**で**カペルナウム**へ**向**か**わ**せ**ま**し**た**。そ**し**て、王**に**し**よ**う**と**する**群**衆**を**避**け**る**ため**に**自**分**は**山**へ**行**き**ま**し**た。 (ヨハネ 6:16-20) 夕**方**に**なる**頃**、**弟**子**た**ち**は**湖**に**下**り**てい**った。 17 そ**し**て**舟**に**乗**り**、**湖**を**渡**つ**て**カペルナウム**に**向**か**つ**た。もう暗**く**な

っていたが、イエスはまだ弟子たちの所に来ていなかった。¹⁸ また、強い風が吹いていて、湖は荒れだした。¹⁹ ところが、弟子たちは5、6キロほどこいだ時、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいてくるのを見た。そして恐ろしくなった。²⁰ しかしイエスは、「私です。恐れることはありません！」と言った。）使徒たちが舟をこいでいると嵐が起き、強い風が吹いて湖は荒れだします。そこにイエスが水の上を歩いてやってきます。そしてペテロにも水の上を歩くようにと言います。（[マタ 14:22-31](#) それからすぐイエスは弟子たちを舟に乗らせて先に対岸に向かわせ、群衆は解散させた。²³ イエスは群衆を解散させた後、祈りをするため自分だけで山に登った。日が暮れても、1人でそこにいた。²⁴ その頃までに、舟は陸から何百メートルも離れていたが、向かい風で、波のためになかなか進まなかった。²⁵ ところが、第4夜警時(AM3-6時頃)に、イエスは湖の上を歩いて舟の所に来た。²⁶ 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いているのを目にして動搖し、「幻影(*錯覚)だ！」と言った。そして、恐れのあまり叫び声を上げた。²⁷ しかし、イエスはすぐに話し掛け、「安心しなさい。私です。恐れることはありません」と言った。²⁸ ペテロは言った。「主よ、あなたでしたら、水の上を歩いてそちらに行くように命めしてください」。²⁹ イエスは、「来なさい！」と言った。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に向かった。³⁰ ところが暴風を見て怖くなり、沈み始めた時、「主よ、助けてください！」と叫んだ。³¹ イエスはすぐに手を伸ばしてペテロをつかみ、「信仰の少ない人よ、なぜ疑いに負けたのですか」と言った。）イエスが舟に乗るとすぐ風がやみます。弟子たちは驚いて、「確かにあなたは神の子です」と言います。*この出来事について詳しくは、「[イエス道、真理、命](#)」の131ページや、「[その信仰に倣う](#)」の185ページを参照。（[マタ 14:33](#) その時、舟にいた弟子たちは、「確かにあなたは神の子です」と言って、敬意を表した。）弟子たちがそう言ったのは、イエスが奇跡によって人々にパンを与えた時ではなく、水の上を歩くのを見た後でした。そのことについてマルコはこう書いています。「[弟子たちは]すっかり驚いた。先ほどのパンの意味を把握しておらず、まだ心が鈍くて理解できなかったのである」。（[マル 6:50-52](#) 皆、イエスを見て動搖したのである。しかし、イエスはすぐに話し掛け、「安心しなさい。私です。恐れることはありません」と言った。⁵¹ そして舟に乗り込むと、風はやんだ。弟子たちはすっかり驚いた。⁵² 先ほどのパンの意味を把握しておらず、まだ心が鈍くて理解できなかったのである。）弟子たちは、エホバが聖なる力によってどれほどの力をイエスに与えているかを理解できていませんでした。それでイエスはパンの奇跡について話し、私たちにとって大切な点を教えました。

8-9. 群衆がイエスを捜したのはどうしてですか。（[ヨハネ 6:26, 27](#)）

8 イエスに食べ物をもらった人々は何に关心があったのでしょうか。次の日、イエスと使徒たちがいなくなったことに気付くと、人々はティベリアから着いた舟に乗り込み、イエスを捜しにカペルナウムに向かいました。（[ヨハ 6:22-24](#) 次の日、湖の向こう側にいた群衆は、そこに舟がないことに気付いた。弟子たちだけがそこにあった小舟で去っていて、イエスは一緒に乗ってはいかなかったのである。²³ すると、主イエスが感謝の祈りをしてから人々にパンを食べさせた場所の近くに、ティベリアから数艘の舟が着いた。²⁴ 群衆はイエスも弟子たちもそこにいないのを見て、それらの舟に乗り、イエスを捜しにカペルナウムに行った。）それは神の王国についてもつと聞きたかったからでしょうか。そうではありませんでした。特に关心があったのは食欲を満たすことでした。どうしてそういうのでしょうか。

9 群衆がカペルナウムの近くでイエスを見つけた時のことを考えてみましょう。イエスは、人々が一時的な食欲を満たすことを一番に考えていると指摘します。人々は「パンを食べて満足しましたが、それは「腐ってしまう食物」だと思いました。それで、そのような食物ではなく、「なくならないで永遠の命をもたらす食物」のために働くようにと勧めました。（ヨハネ 6:26, 27 イエスは答えた。「はっきり言っておきますが、皆さんが私を捜しているのは、奇跡を見たからではなく、パンを食べて満足したからです。27 腐ってしまう食物のためではなく、なくならないで永遠の命をもたらす食物のために働きなさい。人の子がそれを与えます。父すなわち神が彼を認めていることを示した(d*この者に証印を押した)からです」を読む。）人々は永遠の命につながる食物があると聞いて驚いたことでしょう。では、どうすればそのような食物を手に入れることができたのでしょうか。

10. 「神の求めること」とは何でしたか。

10 ユダヤ人たちは、そのような食物を手に入れるには何かをする必要があるだろう、と考えました。モーセの律法で求められていた行いのことを考えたかもしれません。でもイエスは「神の求めること、それは神が遣わした人に信仰を抱くことです」と言いました。（ヨハ 6:28, 29 人々は言った。「神の求めることを行うには何をしなければなりませんか」。29 イエスは答えた。「神の求めること、それは神が遣わした人に信仰を抱くことです」）「永遠の命を受け」るには、神が遣わした人に信仰を持つことが必要です。イエスは以前にもこのことを教えたことがあります。（ヨハ 3:16-18 神は、自分の独り子を与えるほどに人類を愛したのです。そのようにして、独り子に信仰を抱く人が皆、滅ぼされないで永遠の命を受けられるようにしました。17 神が自分の子を世に遣わしたのは、彼が世を断罪するためではなく、世が彼を通して救われるためです。18 彼に信仰を抱く人は裁かれません。信仰を抱かない人はすでに裁かれています。その人は、神の独り子の名に信仰を抱いていないからです。）またこの後にも、永遠の命を得るにはどうすればよいか、さらに伝えました。（ヨハ 17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要が

あります。）

11. ユダヤ人たちが文字通りのパンのことばかり考えていたことは、どんな点から分かりますか。（詩編 78:24, 25）

11 ユダヤ人たちは「神の求めること」についてイエスが教えたことを受け入れませんでした。そしてこう言いました。「私たちがあなたを信じられるよう、あなたはしるしとしてどんな奇跡を見せてください」。（←ヨハ 6:30）そして、モーセの時代には自分たちの先祖に食物となるマナを与えられたと言います。（ネヘ 9:15 彼らが飢えると、天からパンを与え、喉が渴くと、大岩から水を出しました。そして、あなたが与えると誓った土地に入ってそこを取得するようにと告げました。ヨハ 6:31 私たちの父祖は荒野でマナを食べました。『神は天からパンを与えて食べさせた』と書いてある通りです。詩編 78:24, 25 をマナを雨のように降らせて食べさせ、天の穀物を与えた。25 人々は力の強い者(*天使)たちのパンを食べ、神から食物を十分に与えられた。読む。）人々が文字通りのパンをもらうことばかり考えていたことが分かります。そしてイエスが、マナとは違い命を与える「天からの真のパン」について話した時、人々はその意味について尋

ねることもしませんでした。 (ヨハ 6:32 イエスは言った。 「はっきり言っておきます。モーセは天からのパンを与えませんでした。しかし、私の父は、天からの真のパンを皆さんに与えていました。) 今の生活のことばかり考えていて、イエスが伝えようとしていた永遠の命に関する真理を聞こうとしなかったのです。このことから何を学べるでしょうか。

私たちにとって一番大切なこと

12. イエスは何を一番大切にしていましたか。

12 ヨハネ 6章 から大切な点を学べます。私たちにとって一番大切なのはエホバとの絆だということです。イエスはそのことをサタンから誘惑された時にはっきりと示しました。 (マタ 4:3, 4 誘惑者がイエスに近づき、言った。 「神の子なら、これらの石に、パンになるように命じなさい」) 4 イエスは答えた。 「『人は、パンだけではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きなければならない』と書いてあります」。) 山上の垂訓の中でも、神の導きが必要であることを自覚することの大切さについて話しました。 (マタ 5:3 神の導きが必要であることを自覚している人たちは幸福です。天の王国はその人たちのものだからです。) それで、次の点を考えてみることができます。 「自分の生き方には、何よりもエホバとの絆を大切にしていることが表れているだろうか」。

13. (ア) 食べることを楽しむのが間違ったことではないはどうしてですか。 (イ) どんな警告に注意を払うことは大切ですか。 (コリント第一 10:6, 7, 11)

13 生活に必要な物について祈ったり、楽しい時間を過ごしたりするのはふさわしいことです。 (ルカ 11:3 毎日の必要に応じて、日ごとに私たちにパンをお与えください。) 「食べ、飲み、一生懸命働く」ことから味わえる喜びは「真の神からのもの」です。 (伝 2:24 食べ、飲み、一生懸命働く充実感、人にとってこれ以上の幸せはない。私はこれもまた、真の神からのものだと気付いた; 8:15 喜ぶのは良いことだと私は言った。食べ、飲み、喜ぶこと、この地上で人にとってこれ以上の幸せはないからだ。真の神が与えてくださる、地上での生涯の間、一生懸命働いて喜びにあふれよう。ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)。) でも、私たちはそうした物に対して正しい見方をする必要があります。パウロはその点について当時のクリスチャンに宛てた手紙の中で強調しました。シナイ山の近くでイスラエル人に起きた出来事について話し、「彼らのように悪い事柄を行おうとしてはなりません」と警告しました。 (コリント第一 10:6, 7) こうした例から学べることがあります。私たちは、彼らのように悪い事柄を行おうとしてはなりません。 7 彼らのうちのある人たちのように、偶像を崇拜してはなりません。 「民は座って食べたり飲んだりし、立ち上がって楽しんだ」と書かれています、 11 こうしたことが彼らに起きたのは、私たちが過去の例から学ぶためです。これらの出来事は、今の体制が終わる時に生きている私たちへの警告として書かれたのです。を読む。) エホバは奇跡によってイスラエル人に食べ物を与えましたが、人々は食べ物に執着し、「悪い事柄」を行う結果になってしまいました。 (民 11:4-6 民の中にいたさまざまな外国人が利己的な願望を口にし、イスラエル人も泣いてこう言いました。 「誰が肉を食べさせてくれるのか。 5 エジプトでただで食べて

いた魚が本当に懐かしい。それに、キュウリやスイカ、ネギ、タマネギ、ニンニクもだ。 6 それ
が今、私たちは痩せ衰えている。目にするのはこのマナばかりだ」 [31-34](#) エホバのもとから風が
起き、海からウズラを運んできて、宿営の周りに落とした。ウズラは宿営の周囲一帯に、歩いて
1日かかる所まで、1メートルほどの高さで積もった。 32 民はその日1日、また夜通し、さらに次
の日も1日、寝ずにウズラを集めた。一番少ない人でも 2200 リットルは集めた。そして、自分た
ちのために宿営の周囲一帯に並べていった。 33 しかし、肉を口に入れて食べている間に、民に対
してエホバの怒りが燃え、エホバは民を打ち始め、非常に大勢の人を滅ぼした。 34 その場所はキ
ブロト・ハタアワ(m*渴望の墓場)と呼ばれるようになった。利己的な渴望を示した人々をそこで葬
ったからである。) さらに、金の子牛を崇拝しながら、食べたり飲んだり楽しんだりしました。

([出 32:4-6](#) アロンは金を受け取り、彫り道具で形を整えて子牛の像(*鋳造された像)を作った。民
は、「イスラエルよ、これが私たちをエジプトから連れ出した私たちの神だ」と言いました。 5
アロンはこれを見て、その前に祭壇を作った。そして、「明日、エホバの祭りがある」と叫んだ
。 6 次の日、民は早く起き、全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げ始めた。その後、座って食べたり
飲んだりし、立ち上がって楽しんだ。) パウロはこの出来事を当時のクリスチャンへの警告とし
て話しました。西暦70年のユダヤ人の体制の終わりが近づいていたからです。私たちも今の体制
の終わりが近づいているので、パウロの警告を真剣に受け止める必要があります。

14. 新しい世界ではどんなことを楽しみにできますか。

14 イエスは「この日のためのパン」を祈り求めるように教えた時、神の望まれることが「天と同
じように地上でも」行われることを祈るように、とも言いました。 ([マタ 6:9-11](#) それで、このよ
うに祈らなければなりません。『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますよ
うに。 10 あなたの王国が来ますように。あなたの望まれることが、天と同じように地上でも行わ
れますように。 11 今日、この日のためのパンを私たちにお与えください。) それが実現する時
ことをイメージできますか。聖書によると、神が地上に対して望んでいることの中には、みんな
が上質の食べ物を楽しむことが含まれています。[イザヤ 25章 6-8節](#) 大軍を率いるエホバはこの山
で全ての人々のために、豪華な料理の宴を、上等の(*おりの上に寝かせられた)ぶどう酒の宴を
催す。骨髓をふんだんに使った豪華な料理の宴、こされた上等のぶどう酒の宴である。 7 神はこ
の山で、全ての人々を包んでいる覆いと、全ての国を覆っている織物(*ベール)を取り除く(d*の
み込む)。 8 神は死を永久にのみ込む(*取り除く)。主権者である主エホバは全ての顔から涙を拭
う。ご自分の民に対する非難を全世界から除き去る。エホバご自身がそう語ったのである。によ
ると、神の王国の下ではたくさんのおいしい食べ物があります。また、[詩編 72編 16節](#) 地上には
穀物が豊かに実り、山々の頂でも豊作になる。王の収穫物はレバノンの木々のように素晴らしい
、町の住民は地上の草木のように咲き誇る。では、「地上には穀物が豊かに実り、山々の頂でも
豊作になる」と書かれています。収穫した穀物を使って自分の好きなパンを焼いたり、新しいレ
シピを試したりしてみたいと思いませんか。自分でブドウ園を造って、ブドウを食べたりワイン
を飲んだりすることもできます。 ([イザ 65:21, 22](#) 人々は家を建てて住み、ブドウ園を造って実
を食べる。 22 建てた家に他人が住むことはなく、植えた物を他人が食べることもない。私の民
の寿命は木の寿命のようになり、私が選んだ者たちは働く喜びを存分に味わう。) しかも、みん
なでこうしたことを楽しめます。

15. 将来復活してくる人たちはどんなことを学びますか。 (ヨハネ 6:35)

15 ヨハネ 6:35 イエスは言った。「私が命のパンです。私のもとに来る人は全く飢えず、私に信仰を抱く人は決して喉が渴きません。」を読む。将来復活が起きる時、イエスの奇跡によってパンと魚を食べた人たちに会えるかもしれません。当時イエスに信仰を抱いていなかった人たちも復活する可能性があります。(ヨハネ 5:28, 29) このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来ます。29 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます。) でも、そうした人たちも、イエスが言った「私が命のパンです。私のもとに来る人は全く飢え……ません」という言葉の意味を学ぶことになります。そして、イエスが自分の命を贍いとして犠牲にしてくれたことに信仰を持つ必要があります。新しい世界では、復活してくる人や生まれてくる子どもたちのために、信仰を強める教育プログラムが準備されることでしょう。そうした人たちを教え、助けることができるの本当にうれしいことです。新しい世界でエホバとの絆を持てるよう他の人を助ける時、どんなおいしいパンを食べる時よりも深い喜びを味わうことができるのです。

16. 次の記事ではどんなことを学びますか。

16 この記事ではヨハネ 6章の一部を考えてきましたが、イエスは「永遠の命」についてさらにたくさんのこと教えました。その内容は当時のユダヤ人だけでなく今の私たちにとっても大切です。次の記事ではヨハネ 6章をさらに考えます。

どんなことを学びましたか

1. イエスが群衆にパンと魚を配る前にしたことから、何を学べますか。

・S04 イエスはパンと魚を与えてくれたことに感謝して天の父に祈りを捧げた。私たちも一人でいる時もそうでない時も食事の前に感謝の祈りを捧げ、余った物も無駄にならないように大切にする。親はこの記述を子供たちと一緒に学び、祈ることやもてなすこと、惜しみなく与えることなどについて話し合える。

2. 人々がイエスを王にしようとした時のイエスの反応から、何を学べますか。

・S06 政治に関わるよう圧力をかけられる時、イエスの手本を思い出し、政治に一切関わらず、神の王国を支持し、王国について祈ったり語ったりする。

3. コリント第一 10 章 6、7、11 節から何を学べますか。

・S13 生活に必要な物について祈ったり、楽しい時間を過ごしたりするのはふさわしいことで、食べ、飲み、一生懸命働くことから味わえる喜びは、真の神からのもの。しかしシナイ山の近くでイスラエル人は食べ物に執着し、悪い事柄を行う結果になり、金の子牛を崇拜しながら、食べたり飲んだり楽しんだりした。パウロはこの出来事を西暦 70 年のユダヤ人の体制の終わりが近づいていた当時のクリスチヤンへの警告として話したが、私たちも今の体制の終わりが近づいているので、パウロの警告を真剣に受け止める必要がある。

20 番の歌 あなたは貴重な子を与えてくださった